

伊賀市新庁舎基本設計概要

使いやすく親しまれる庁舎へ

市では、昨年の8月から新庁舎の設計業務を進めてきました。平成22年に策定した伊賀市庁舎建設基本計画の理念に沿って、庁内の検討組織で作成した素案を基に、市民の皆さんとの協働検討会などを経て基本設計をまとめました。

より使いやすく、末永く市民の皆さんに親しまれる庁舎をめざし、現在実施設計に着手しています。

市民意見の反映

基本設計を進めるにあたっては、市民の皆さんのご意見やご要望の反映に努め、計画には、建設条件や予算などの制約の中で、いただいた多くのご意見を取り入れています。

全体のコンセプト

◆まちの広場としての庁舎

敷地内や建物の緑化に努めます。上野公園の緑を駅前に向けて広げること、休日の観光客利用にも対応したまちの広場としての役割を果たすよう計画します。

◆景観への配慮

外観は、水平ラインの重なりで構成するなど、現庁舎の面影を残しつつ、城下町の景観に配慮した彫りの深いデザインとしています。

また、屋上に設置する機械設備を、勾

配屋根を模した塀で囲むことにより、上野公園からの眺望にも配慮しています。

◆対話を育む工夫

コミュニケーションポイドと名づけた西側4層の吹き抜け空間に面して、相談や打ち合わせのスペースを設けます。

吹き抜けに面した明るい空間に窓口カウンターを並べ、訪れた人にかりやすいように配置します。

◆地震に強い庁舎

庁舎は、大規模災害発生時には災害対策拠点としての機能を発揮する必要がありますので、建物の耐震安全性の目標を最高レベルに設定します。これを満たすための建物構造を比較検討し、新庁舎は、地震に強い免震構造を採用します。

配置計画

新庁舎では、敷地の東側に建物を

●建物概要●

- 構造：鉄筋コンクリート造
一部現場打ちPC造
- 階数：地上4階・地下1階
- 最高高さ：20 m
- 駐車台数：200台
- 駐輪台数：60台

- 建築面積：4,300㎡（庁舎のみ）
- 建ぺい率：35.91%
- 延床面積：16,600㎡
（うち、地下駐車場：2,750㎡）
- 容積率：115.65%
（容積対象面積：13,850㎡）



丸之内交差点からのイメージ図

伊賀上野城からのイメージ図



配置し、西側を駐車場として活用します。敷地の西側を南北に通すことにより、上野公園と市街地をつなぐ観光導線としての役割を担いやすくなります。

なお、この配置により、工事期間中も南庁舎で住民サービスを継続でき、庁舎建設に伴う仮移転経費を抑えています。

敷地内の動線計画

丸之内交差点付近の交通停滞に配慮し、庁舎駐車場への一般車両の出入口を敷地北側道路に設けます。

駐車場への出入口を1カ所に集約し、場内を一方通行にすることで、車両の流れをわかりやすくし、安全性を確保します。

建物の玄関は、西、南、東の3カ所に設置します。歩行者は、どの玄関を利用しても駐車場を横切ることなく、安全に出入りできるようにしています。

また、上野市駅との地下連絡道出入口にエレベーターを設置し、駅前との連絡をよくする予定です。

防災計画

災害対策の拠点となる総合危機管理室を3階に配置し、隣接した会議室（災害対策本部）を含めて円滑な活動ができるよう計画します。

また、電源や通信回線を二重化するとともに、停電時でも必要な電源

